

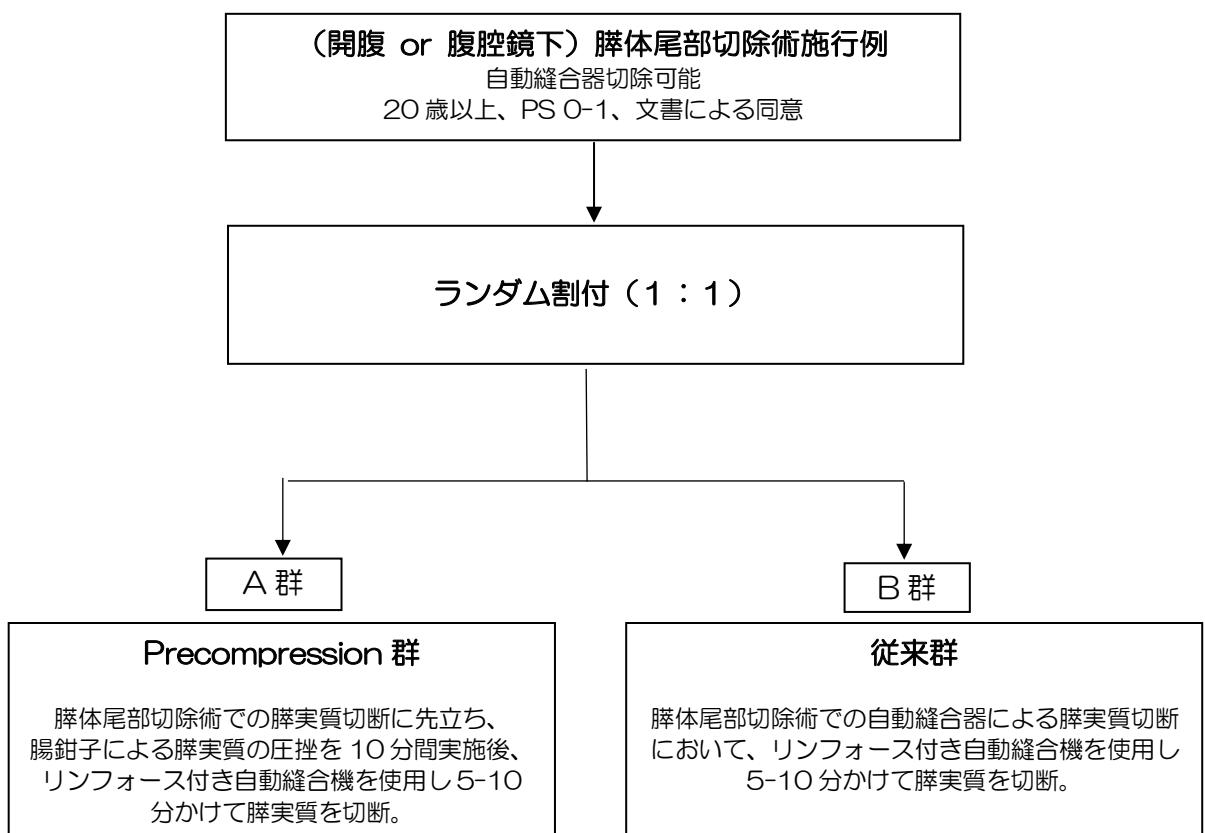
膵体尾部切除での膵実質離断における precompression 法の
有効性に関する多施設共同単盲検無作為化並行群間比較試験

- HiSCO -10 trial -

研究責任者 上村健一郎
広島大学病院 消化器外科
連絡先：電話番号 082-257-5215
(内線/PHS 2122)
Email : umk@hiroshima-u.ac.jp

・研究の概要

○ 研究のシェーマ



○ 研究の目的

脾体尾部領域疾患（脾体尾部癌、脾神経内分泌腫瘍、脾管内乳頭粘液性腫瘍、脾粘液性囊胞腫瘍、転移性脾腫瘍などの腫瘍性病変や、慢性脾炎、腫瘍形成性脾炎などの炎症性疾患など）に対する（開腹 or 腹腔鏡下）脾臓合併脾体尾部切除術において、自動縫合器による脾実質切断後の脾液瘻の発生率が、切断の直前に腸鉗子による 10 分間の脾実質の圧挫（Precompression）を行わずに切断した群に対し、圧挫を行って切断した群で有意に低下することを検証する

○ 研究対象者

脾体尾部切除術施行患者。

○ 研究に用いる治療法

脾実質切断において、以下のいずれかの方法を用いる。

A群：腸鉗子による脾実質の圧挫を 10 分間実施後、リンフォース付き自動縫合機を使用

B群：リンフォース付き自動縫合機を使用

○ 目標対象者数と研究期間

目標対象者数：180 例

研究期間：西暦 2021 年 3 月 19 日～西暦 2024 年 9 月 30 日

○ 問合せ先

広島大学病院 消化器外科

〒732-8551 広島市南区霞 1-2-3

TEL : 082-257-5215

FAX : 082-257-5219

E-mail : seoshin5@hiroshima-u.ac.jp